

令和6年度

図書館評価 (目標)

和歌山県立図書館

図書館評価 実施要項

1 図書館評価の趣旨

和歌山県立図書館は、運営の改善と図書館サービスの向上等を図るために、図書館法第7条の3に基づき、図書館評価を行う。

【参考 図書館法抜粋】

(運営の状況に関する評価等)
第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るための必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 図書館評価の構成と方法

(1) 評価の項目及び指標等

評価項目	指標項目数
1 読書活動の推進に関して	7
2 市町村立図書館等への支援に関して	2
3 サービスの充実に関して（情報の提供等含む）	8
4 資料の収集及び保存に関して	2
5 文化情報センターに関して	6
計	25

<参考>

地域等への貢献状況の紹介	11
--------------	----

(2) 指標項目の評価等

① 数値目標の設定等

前年度まで（過去3年間程度）の実績、本年度の施策及び取組等を勘案して、各指標毎に、当該年度の数値目標の設定を行うとともに、改善方策を含めた取組を定める。

② 評価方法

評価は、当該年度の実績値と目標値をもとに、下記に示す「指標項目の評価基準」で客観的に行う。

③ 指標項目の評価基準

評価	達成状況
A（達成）	当該年度実績が前年度実績と当該年度目標の両方を超えている。
B（ほぼ達成）	当該年度実績が前年度実績、又は、当該年度目標のどちらかを超えている。
C（達成できていない）	当該年度実績が前年度実績と当該年度目標の両方に達していない。

(3) 評価項目の評価等

① 評価方法

評価項目内の指標項目の評価をもとに、下記に示す「評価項目の評価基準」で客観的に行う。

② 評価項目の評価基準

評価	達成状況
達成	A及びBの割合が100%(Aの割合が2/3以上)
ほぼ達成	A及びBの割合が80%～100%未満(Aの割合が1/3以上)
概ね達成	A及びBの割合が60%～80%未満
達成できていない	A及びBの割合が60%未満

3 図書館評価の公表等

公表については、下記の手順で、ホームページ等で行う。

- (1) 当該年度の目標値等を設定した時点で第1回目（目標）の公表を行う。
- (2) 次年度当初に、当該年度実績値をもとに評価・検証等を行い、改善策及び次年度の取組等を検討し、第2回目（結果）の公表を行う。

令和6年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度 目標達成率 (%) (C/B)	評価
		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値 (A)	R6年度 目標値 (B)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (B/A)	R6年度 実績値 (C)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (C/A)		
1 読書活動の推進に関して										
①	お話し会参加人数	317	715	821	820	99.9%				
	(本館)	105	420	503	500	99.4%				
	(紀南)	212	295	318	320	100.6%				
②	図書館ウォッチング 参加人数	191	239	210	220	104.8%				
③	手づくり紙芝居 コンクール応募点数	29	12	20	—	—				
④	ビブリオバトルの 参加人数	1,019	1,271	1,257	1,250	99.4%				
⑤	POPコンクールの 参加人数	541	929	603	650	107.8%				
⑥	学校への支援 (資料貸出冊数)	18,185	16,788	15,276	16,500	108.0%				
	(本館)	14,133	13,101	11,824	13,000	109.9%				
	(紀南)	4,052	3,687	3,452	3,500	101.4%				
⑦	学校への支援 (出張講座回数)	13	23	16	17	106.3%				
	(本館)	8	19	11	12	109.1%				
	(紀南)	5	4	5	5	100.0%				
※ ④ビブリオバトルの参加人数、⑤POPコンクールの参加人数は、「中高生読書まつり」として実施 【現状】 ・【本館】新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、お話し会への参加制限を解除したため、参加人数も増加している。 [①] ・手づくり紙芝居コンクールは、令和5年度に開催した第30回のコンクールをもって終了した。[③] ・ビブリオバトルの参加意向調査では全市町村が参加の意向を示しているが、地域大会は実施できず、校内の大会で当該地域の代表を決定した自治体が若干ある。[④] 【目標達成のための改善点及び取組等】 ・【本館】SNSによるお話し会のプログラムの発信等、広報を積極的に行う。[①] ・市町村教育委員会への広報を(県)生涯学習課を通じて行い、積極的な参加を促す。[④] ・(県)生涯学習課や(県)総務課の講師派遣事業を利用し、学校との打ち合わせを綿密に行って、支援内容を充実させる。[⑦]										
【全体評価】 《 》 ○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】										
○課題及び改善点										

令和6年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度目標達成率(%) (C/B)	評価
		R3年度実績値	R4年度実績値	R5年度実績値 (A)	R6年度目標値 (B)	R5年度実績値に対する比率(%) (B/A)	R6年度実績値 (C)	R5年度実績値に対する比率(%) (C/A)		
2 市町村立図書館等への支援に関して										
① 貸出冊数		23,237	21,570	21,634	21,900	101.2%				
(本館)		15,523	14,259	15,035	15,100	100.4%				
(紀南)		7,714	7,311	6,599	6,800	103.0%				
・図書館・図書室		16,509	16,705	16,845	17,000	100.9%				
(本館)		13,017	12,724	12,956	13,000	100.3%				
(紀南)		3,492	3,981	3,889	4,000	102.9%				
・その他団体		6,728	4,865	4,789	4,900	102.3%				
(本館)		2,506	1,535	2,079	2,100	101.0%				
(紀南)		4,222	3,330	2,710	2,800	103.3%				
② 市町村に対する支援件数		37	52	35	37	105.7%				
(本館)		29	39	25	27	108.0%				
(紀南)		8	13	10	10	100.0%				
【現状】 ・【本館】市町村の図書館・図書室やその他団体への貸出冊数は増加している。[①]										
【目標達成のための改善点及び取組等】 ・利用の少ない市町村を対象に、市町村訪問等の機会を通じて個別に担当者に説明を行い、制度の利用促進を行う。[①]										
【全体評価】 《 》 ○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】										
○課題及び改善点										

令和6年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度 目標達成率 (%) (C/B)	評価
		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値 (A)	R6年度 目標値 (B)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (B/A)	R6年度 実績値 (C)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (C/A)		
3 サービスの充実に関して(情報の提供等含む)										
①	入館者数	342,843	319,469	321,787	323,700	100.6%				
	(本館)	262,400	250,215	251,686	252,700	100.4%				
	(紀南)	80,443	69,254	70,101	71,000	101.3%				
②	貸出冊数	441,449	402,612	392,991	397,000	101.0%				
	(本館)	326,684	288,227	276,852	277,000	100.1%				
	(紀南)	114,765	114,385	116,139	120,000	103.3%				
③	貸出人数	134,697	124,496	123,452	123,600	100.1%				
	(本館)	103,546	94,293	91,543	91,600	100.1%				
	(紀南)	31,151	30,203	31,909	32,000	100.3%				
④	レファレンス件数	26,345 (15,287)	26,045 (14,391)	22,893 (13,441)	23,700 (13,500)	103.5%				
	(本館)	20,021 (12,568)	20,325 (11,968)	17,926 (10,999)	18,000 (11,000)	100.4%				
	(紀南)	6,324 (2,719)	5,720 (2,423)	4,967 (2,442)	5,700 (2,500)	114.8%				
⑤	南葵音楽文庫 利用者数	404	434	515	350	68.0%				
	(南葵音楽文庫閲覧室入室者数)	68	75	186	150	80.6%				
	(アカデミー参加人数)	336	359	329	200	60.8%				
⑥	ホームページ アクセス数	212,735	205,641	185,556	190,000	102.4%				
⑦	展示 (情報発信に関するもの)	76	83	78	65	83.3%				
	(本館)	29	32	23	25	108.7%				
	(紀南)	47	51	55	40	72.7%				
⑧	新聞報道された件数	63	83	63	65	103.2%				
※ ④レファレンス件数の()は書庫出納件数(内数)										
【現状】 ・入館者数は微増傾向にあるが、貸出冊数や貸出人数については減少している。[①、②、③] ・南葵音楽文庫閲覧室への入室制限の解除やレクチャーの実施等により利用者数は増加し、コロナ禍前の状況に戻つつある。[⑤] ・企画展示の回数は減少している。[⑦]										
【目標達成のための改善点及び取組等】 ・【紀南】利用者に興味をもってもらえるよう、展示内容の見直しを図る。[①、⑦] ・SNSを活用した情報発信を行い、ホームページへのアクセスにつなげる。[⑥] ・予算の減少により南葵音楽文庫のレクチャー回数は半減するが、Web配信の導入により参加者の増加につなげる。[⑤]										
【全体評価】 《 》 ○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】										
○課題及び改善点										

令和6年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度 目標達成率 (%) (C/B)	評価
		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値 (A)	R6年度 目標値 (B)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (B/A)	R6年度 実績値 (C)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (C/A)		
4 資料の収集及び保存に関して										
① 蔵書冊数		1,076,414	1,093,883	1,108,006	1,123,106	101.4%				
(本館)		837,113	849,553	861,445	872,645	101.3%				
(紀南)		239,301	244,330	246,561	250,461	101.6%				
② 特色ある資料の状況		255,619	260,879	265,311	269,864	101.7%				
・郷土資料冊数		96,701	98,173	99,683	100,906	101.2%				
(本館)		75,418	76,479	77,586	78,506	101.2%				
(紀南)		21,283	21,694	22,097	22,400	101.4%				
・児童書冊数		158,918	162,706	165,628	168,958	102.0%				
(本館)		99,268	101,707	103,524	105,854	102.3%				
(紀南)		59,650	60,999	62,104	63,104	101.6%				
【現状】 ・蔵書冊数は全国21位(令和6年3月31日現在(公益社団法人日本図書館協会『日本の図書館』調査より))である。[①] ・児童書の蔵書冊数は全国9位(令和6年3月31日現在(公益社団法人日本図書館協会『日本の図書館』調査より))である。[②] ・【本館】郷土資料や児童書の収集に努め、郷土資料の冊数は目標値を上回っている。[②]										
【目標達成のための改善点及び取組等】 ・【本館】基本資料は県民の課題解決に役立つ資料を収集し、郷土資料は網羅的に収集する。[①、②] ・【本館】「人権」「仕事」「防災」「がん」「認知症」「子育て」関連資料は重点的に収集し、時事問題に関する資料収集にも配慮する。[①] ・【本館】大型絵本や良質な絵本、調べ学習の資料やシリーズ本、児童書やヤングアダルト(中高生向け)資料を収集する。[②] ・【本館】書庫の収容能力を考慮し、選書を慎重に行う。[①] ・【紀南】基本資料や郷土資料、児童資料について、広く県民に役立つ資料を収集する。[①、②]										
【全体評価】 《 》 ○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】										
○課題及び改善点										

令和6年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度目標達成率(%) (C/B)	評価
		R3年度実績値	R4年度実績値	R5年度実績値 (A)	R6年度目標値 (B)	R5年度実績値に対する比率(%) (B/A)	R6年度実績値 (C)	R5年度実績値に対する比率(%) (C/A)		
5 文化情報センターに関して										
①	入館者数	54,675 (10,244)	56,619 (14,393)	55,795 (11,229)	59,000 (15,000)	105.7%				
②	視聴覚資料の利用件数	3,929	4,712	4,117	5,140	124.8%				
	(DVD・ビデオ)	2,586 (2,568)	2,983 (2,959)	2,552 (2,549)	3,250 (3,200)	127.4%				
	(CD)	1,343 (774)	1,729 (802)	1,565 (597)	1,890 (900)	120.8%				
③	体験教室等への参加人数	2,758	5,774	6,594	6,600	100.1%				
④	県民カレッジの登録講座数	900	955	949	980	103.3%				
⑤	県民カレッジの登録者数	6,800	6,935	7,090	7,500	105.8%				
⑥	施設の利用件数	177	246	181	260	143.6%				
	(メディア・アート・ホール)	115	150	108	160	148.1%				
	(講義・研修室)	62	96	73	100	137.0%				
※ ①入館者数の()はメディア・アート・ホール及び講義・研修室の利用者数で内数 ※ ②視聴覚資料の利用件数の()は、利用人数										
【現状】 ・メディア・アート・ホールのLED化工事により1月から3月にかけてホールが使用できなかったため、R5年度の入館者数及び施設の利用件数は減少した。[①、⑥] ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、体験教室等への参加者や自習スペースの利用者は増えたが、視聴覚資料の利用件数は減少している。[②、③] ・きのくに県民カレッジにおいては、登録者数が3年連続で増加したものの、登録講座数は若干減少している。[④、⑤]										
【目標達成のための改善点及び取組等】 ・メディア・アート・ホールについては、昨年度のLED化工事に続き、今年度はプロジェクターの更新が予定されているため、舞台演出の幅が広がる旨を積極的に広報し、入館者数の増加を図る。[①、⑥] ・視聴覚資料の利用件数の増加を図るため、貸出上限数の検討を行うとともに、利用者のニーズの把握に努め、所蔵の充実を図る。[②] ・遊ing等体験教室の内容の充実を図るとともに、広報をより積極的に行い、参加人数の増加に努める。[③] ・きのくに県民カレッジについては、引き続き、各市町村の新規講座の登録数及び登録者数の増加を図り、広報等啓発活動に努める。[④、⑤]										
【全体評価】 《 》 ○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】										
○課題及び改善点										